

簡易版 TP (ティーチング・ポートフォリオ)

氏名	ダッタ シャミ
所属機関名	教育学部・中等教育学科
職位	教授・学部長
在籍年	5 年半

教育の責任

Motivation-based learning. Global standards, meaningful teaching and learning.

Student co-ownership of learning and assessment. これらを「Why do I teach what I teach? Why do students learn what they learn?」を問いながら、学習者の文脈に合わせた知識学力と探究学力のバランスがとれた inquiry and research-based teaching and learning を担える教員養成と教師教育が主な教育責任である。具体的な担当は、

- 教育学部長として、教育全体の責任に加えて、国策の国際バカロレア教員資格 (IBEC) プログラムのディレクターとして、IBEC プログラムのほぼ全授業 (現任教員も履修)
- 前中等教育学科長として、また一学科教員として複数担当の教職関連授業、ゼミ、現代人とことばなどの授業
- 前国際日本語教育コース長以来、日本語教員資格関連授業
- 全学のグローバル入門授業

教育の理念

- 教育理念を問い続け、ふりかえり続けることで実践を深める
- 学校や大学は、今要る知識を「教える」より 10 年後に必要な資質・能力習得の場!?
- 教育はほぼ 10 割モチベーション!?
- 「勉強する」理由がなければ、勉強しない!?
- Teacher, educator, facilitator … 教師はそれら全て!?
- やみつきになるアカデミック・ハイジャック!
- 問いは知識のエッセンス?
- 教科書、指導書はそれらを超えるためにある!?
- 以下の国際バカロレア (IB) 教育の理念: *Develop inquiring, knowledgeable and caring young people who help to create a better and more peaceful world through intercultural understanding and respect. Encourage students across the world to become active, compassionate and lifelong learners who understand that other people, with their differences, can also be right.*

教育の方法・方針

5W 1H 1E: What When Where Who How の知識に加えて、Why & Effects を複数の角度から個人と協同で分析し、他人に伝え、聞き手にも問いが湧き、それに対応する力を structured, guided and open inquiry の教授方法を用いつつ、シラバスの目標達成を協働実践する。

「Why do I teach what I teach? Why do students learn what they learn?」を問いながら、学習者の文脈に合わせた知識学力と探究学力のバランスがとれた inquiry and research-based teaching

and learning を以下の方法と方針で展開する：

Co-design of knowledge content and learning activities to achieve syllabus goals. Implementation and understanding of student co-ownership of learning and assessment. Motivation-based learning and co-design of assessment rubrics.

教育の成果

上記の方法と方針を学生が自身の文脈に合わせた教育実践できるようになる。

学生が以下の IB の 10 の学習者像 (Learner Profile) で自身を振り返ることができる。

探究する人 (Inquirers)

知識のある人 (Knowledgeable)

考える人 (Thinkers)

コミュニケーションができる人 (Communicators)

信念をもつ人 (Principled)

心を開く人 (Open-minded)

思いやりのある人 (Caring)

挑戦する人 (Risk-takers)

バランスのとれた人 (Balanced)

振り返りができる人 (Reflective)

担当する授業群の全学生が履修する IB 教員養成プログラムの最初の授業である「国際バカロレア概論」の授業の達成目標 1)が「10 の学習者像の概念を説明できる」であり、2 回目の授業の内容が「IB の「10 学習者像」について学習する。10 の学習者像が作られた理念を理解し、その意義を認識する。さらに学習者像を日本の校訓や学校の目標と比較する。」の内容となっている。この 10 の学習者像は国際バカロレア教育の中核にあり、その後の授業では各学習活動の共同構築と振り返るをする際に学生がメタ認知するような運営をしている。

今後の目標

次期学習指導要領に含まれる予定の概念型学習や学際的な学びを実践展開できる教員養成と教師教育。

根拠資料

上記の方法と方針を学生が自身の文脈に合わせた教育実践できている評価を本学附属校や他の複数の学校からその評価を頂いている。

学生が毎年複数の学校や教育現場に呼ばれている。

Student co-designed rubrics, and co-designed content.

Student co-designed classroom activities. IBEC teaching practice and practicums.